様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施　策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○防災体制及び危機管理体制の強化
主な取組	沖縄県総合行政情報通信ネットワーク（防災行政無線）通信機器改修事業		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・防災及び危機管理の拠点となる「沖縄県防災危機管理センター」を整備し、同センターを中核に、様々な危機事象に対し迅速かつ的確な危機対応が可能となる体制の構築を図るとともに、県民や本県を訪れている観光客への迅速な情報提供に向けた「沖縄県防災情報システム」の拡充・強化や市町村防災行政無線等の整備を促進するなど、防災体制及び危機管理体制の強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県と市町村等との情報通信手段として整備した沖縄県総合行政情報通信ネットワーク（以下、「ネットワーク」という。）の改修・長寿命化を推進するため、当該計画に基づく機器更新を行い、災害時等の防災体制強化に取り組む。	県,市町村	通信機器の改修・長寿命化計画策定、関係者協議（市町村、消防等）、当該計画に基づく機器更新		
		改修・長寿命化計画策定	関係者協議	機器更新進捗率（事業費ベース）
		計画策定	協議完了	10%

担当部課【連絡先】	企画部情報基盤整備課　【　098-866-2036　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	通信施設維持管理費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	—	22,000

予算事業名	総合行政情報通信ネットワーク更新事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	156,000

令和6年度活動内容

関係者との協議と同時に改修・長寿命化計画を作成し、ネットワーク機器更新基本設計書を作成する。

令和7年度活動計画

引き続き、関係者と意見交換しながら、ネットワーク機器更新実施設計を作成する。

活動指標名	改修・長寿命化計画策定		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和５年度の検討を基にネットワーク更新基本設計を作成し、更新後の構成及び改修のスケジュール等の検討、概算工事費を算出した。
	現行システムの把握、改修内容の検討	関係者との協議、改修内容の検討	基本設計書の作成	10%	2.0%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
令和５年度までの取組で遅れが生じていたが、令和６年度は改修・長寿命化計画の策定や関係者との協議を行い、ネットワーク更新基本設計書を作成することができた。令和６年度の目標である機器更新進捗率（事業費ベース）10%を達成することはできなかったが、今後は実施設計、更新工事と進めていき、令和11年度までに機器更新を完了する予定である。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○関係者との協議を進めながら、改修・長寿命化計画を策定し、早期にネットワーク機器更新基本設計委託を行う。	○令和６年度は、関係者との協議を行いながら、改修・長寿命化計画を策定し、ネットワーク更新基本設計書を作成した。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今後予定している実施設計や機器更新工事について、計画どおりに事業の進捗を管理する必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑧ その他	引き続き、関係者と意見交換しながら、ネットワーク機器更新実施設計を作成する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施　策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○防災体制及び危機管理体制の強化
主な取組	沖縄県総合行政情報通信ネットワーク（防災行政無線）通信施設改修事業		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・防災及び危機管理の拠点となる「沖縄県防災危機管理センター」を整備し、同センターを中核に、様々な危機事象に対し迅速かつ的確な危機対応が可能となる体制の構築を図るとともに、県民や本県を訪れている観光客への迅速な情報提供に向けた「沖縄県防災情報システム」の拡充・強化や市町村防災行政無線等の整備を促進するなど、防災体制及び危機管理体制の強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県と市町村等との情報通信手段として整備した沖縄県総合行政情報通信ネットワーク（以下、「ネットワーク」という。）の機能を維持するため、「沖縄県総合行政情報通信ネットワーク中継局個別施設計画」を基に、中継局の鉄塔等の改修を実施し、長寿命化を図り、災害時等の防災体制強化に取り組む。	県	通信施設改修に係る中長期計画（R3～R12）に基づく中継局（局舎等）の更新・長寿命化		
		整備進捗率（事業費ベース）		
		34%	48%	60%

担当部課【連絡先】	企画部情報基盤整備課　【　098-866-2036　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	通信施設改修事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	34,800	369,546

予算事業名	通信施設改修事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	332,246

令和6年度活動内容

個別施設計画の更新や適切な工法の選定、適正工期を確保した改修工事・実施設計の実施

令和7年度活動計画

改修工事の平準化にむけた個別施設計画の見直しや、適切な工法の選定、適正工期の確保のため、引き続き、実施設計を工事前年度に実施する。

活動指標名	整備進捗率（事業費ベース）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		個別施設計画に基づき、久米中継局鉄塔等改修工事および伊良部中継局鉄塔等改修工事等の改修工事、多野中継局鉄塔等改修工事設計業務を行った。
	0.88%	10.23%	31.17%	60%	52.0%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度に予算化した事業については、おおむね執行できた。
しかし、資材費および人件費等の工事費が高騰し、全体の事業費が増加したことから、全体計画の見直しを行う必要が生じ、結果として計画の進捗が大幅に遅れている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
工事の規模等に合わせた計画等への見直しを検討し、適切な工法を選定するとともに工期の確保に努める。 改修工事の規模等に合わせた計画等へ見直しを検討する。	個別施設計画更新業務において、劣化度調査を行い、改修箇所の追加や優先順位の見直しを実施した。また、令和５年度に実施設計を完了し、令和６年４月に改修工事を契約締結するなど適正工期の確保に努め、年度内に工事を完了した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	計画更新業務により、現況を反映した計画とすることができた。しかし、改修箇所の追加や概算工事費の増加などがあるため、改修工事の平準化を図る必要がある。
⑦ その他（改善余地の検証等）	工事実施の前年度に実施設計を完了させ、早期に工事を発注し適正工期を確保したことで、工事途中の工程で追加があったものの、年度内で工事完了できた。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	改修箇所や工事費の増加があるため、改修工事の平準化に向けた個別施設計画の見直しを行う。
⑦ 取組の時期・対象の改善	引き続き、実施設計を工事実施の前年度に行い、適切な工法の選定、適正工期の確保する。